

令和7年度 学校だより



あじさい

学校教育目標 「やさしく 強く 自ら学ぶ子」



令和8年1月30日

第8号

鎌倉市立今泉小学校
校長 泉 昭子

*上記のQRコードを読み込むと、今泉小学校ホームページから、画像がカラーでご覧になれます。

2026年 午年

3学期は、登校初日の朝からみみず階段付近で火事があり、通学路が通れないというハプニングがありました。地域の皆さんのが安全に登校できるように誘導してくださり、子どもたちは混乱することなく登校できました。本当にありがとうございました。

その後、無事に始業式を体育館で行い、今年の干支「丙午」(ひのえうま)にちなんだ話をしました。6年生は、残り少ない小学校生活の一日一日を大切に過ごして欲しいと思います。

馬は昔から、人間を助け、重い荷物を運んだり、遠い場所へ連れて行ってくれたりする、とても賢くて力強いパートナーでした。また、馬が元気に走る姿は「物事がうまくいく」「どんどん前に進む」という、とても縁起の良い象徴とされています。

馬は、前へ進むために、走り出す前にしっかりと地面を蹴ります。皆さんも、この3学期にしっかりと学習や生活のまとめをして、4月からの新しい学年で、馬のように軽やかに、パワフルに挑戦する力をつけておきましょう。

＜今年の午年にちなんで、皆さんに意識してほしいこと＞

①一つ目は、「うまく」いかなくてもあきらめないこと。

馬だって、最初から速く走れるわけではありません。何度も練習して強い足を作ります。皆さんも、勉強や運動で「難しいな」と思うことがあっても、あきらめずに一歩ずつ進んでいきましょう。

②二つ目は、友達と「うまく」関わること。

馬は群れで生活する、とても仲間思いの動物です。友達のいいところを見つけ、助け合って、クラスという一つのチームで力強く進んでいきましょう。

自分の頭でしっかりと考え、丁寧な言葉で話し、周りの人を大事にしながら、目標に向かって元気に3学期を過ごしてください。

走り出そう！

きっと

うまくいくよ



✿ 心理の専門家による3学期の教育相談



3学期の学校巡回日が決まりました。お子さんのことでご心配なことがあれば、面談の希望日時を、教頭か児童支援専任の立山までご連絡ください。

学校で相談が受けられます。

山口教育相談員

1月8日(木)・16日(金)・27日(火)

2月3日(火)・12日(木)・20日(金)

3月6日(金)・17日(火)・26日(木)

佐々木スクールカウンセラー

2月 2日(月)

3月 9日(月)

※中学校に向けての不安があれば、子どもが直接話を聞いてもらうこともできます

✿ 鎌倉消防団第7分団 ~毎年3年生がお世話になっています~

3年生は社会科「事故や災害から暮らしを守る」という学習で、神奈川県警察本部や大船消防署に見学に出かけて、安全を守るための様々な取組みや工夫について学んでいます。そして、この学習の時に毎年お世話になっているのが、この地域の「消防団」の皆さんによる出前授業です。子どもたちは防火服を着てその重さに驚いたり、消防車の中にある機材を近くで見たり…。消防署や警察と協力して、「自分たちの町を自分たちで守る」という熱い気持ちが伝わってきて、子どもたちの目も輝いています。



✿ 今小の先輩が大牧圭吾さん!?



4年生の国語の教科書に掲載されている「未来につなぐ工芸品」を書いた、本校卒業生の大牧圭吾さんの仕事「ニッポン手仕事図鑑」は、後継者不足の伝統産業と職人を志す若者をつなぐ後継者インターンシップで、2025年日本サービス大賞地方創生大臣賞を受賞したそうです。日本全国を飛び回っている大牧さんですが、12月12日に学校に来てくださいました。



まずは4年生が興味を持って調べた伝統工芸の発表を見てももらったり、職人さんの思いを話していただいたり…。給食後は懐かしい体育館で、4~6年生に、今泉タイガースで野球をやっていた自分がどうやって今の仕事に出会っていったのか、夢について後輩たちに語ってくれました。

夢はひとつじゃなくていい。夢はたくさんあっていい。夢は変わってもいい。大事なのはがんばること。いろいろチャレンジして、その中から本当に好きなものを見つけてね。

✿ 茶道体験 ~5年生の総合の学習~

本校は和室がある珍しい学校ですが、残念なことに教育活動ではほとんど使われていませんでした。そこで、地域学校協働活動推進員の畠さんが「伝統文化」をテーマとしている5年生に茶道を体験させてほしいと西川先生にお声がけをしてくださいり、貴重な体験が実現しました。

西川先生は、外国人人が憧れる日本文化の素晴らしさを若い世代に継承していきたいという思いで、子どもたちに大人として認められる振る舞いや形の美しさを身につけてほしいと語っておられました。



奥様は今泉小の先生をなさっていた方で、お茶請けの和菓子「琥珀糖」を作つて来てくださいました。子どもたちは緊張した面持ちで、お茶の苦さを味わっていました。